

いわみざわ男女共同参画マガジン

# ア・ライク

ア・ライク (A'like) ~共に生きる~  
(同様の・等しく) という意味を持ちます。

2011年 **VOL.9**



## コンテンツ

- 特集—世界の男女共同参画  
《あなたはどのように感じますか》
- 「デートDV」…その実態を知っていますか？
- あ・らいくな人
- 小樽市との交流会を実施

# 世界の男女共同参画《他の国では》

## あなたはどのように感じますか

男女平等が当たり前のと言われる時代になりましたが、実態はどうでしょうか。

岩見沢市が平成21年度に行った市民意識調査では、男女の地位の平等感は職場では5割、社会通念・慣習・しきたりで7割以上が男女ともに「男性の方が優遇されている」と回答し、男女間の格差を感じている人が多い結果となっています。

昨年10月、世界経済フォーラムが発表した「グローバル・ジェンダー・ギャップ・レポート2010」（世界の男女間格差に関する報告書）によると、日本は134か国中94位でした。

今号では、世界の男女共同参画について、男女共同参画白書等を参考に、他の国と日本とを比較してみることにしました。皆さんは、どのように感じるでしょうか。



## ジェンダー・ギャップ指数(男女平等指数)2010 日本は 134か国中94位!

順位	国名	値
1	アイスランド	0.8496
2	ノルウェー	0.8404
3	フィンランド	0.8260
4	スウェーデン	0.8024
5	ニュージーランド	0.7808
13	ドイツ	0.7530
15	英国	0.7460
19	米国	0.7411
20	カナダ	0.7372
46	フランス	0.7025
74	イタリア	0.6765
94	日本	0.6524

備考:内閣府「共同参画1月号」平成23年

ジェンダー・ギャップ指数(男女平等指数)は、各国における男女間の格差を数値化しランク付けしたものです。経済分野、教育分野、政治分野及び保健分野のデータから作成され、0が不完全平等、1が完全平等を意味しています。

日本は、健康・教育分野では他国と同様に男女格差が少ないものの、政治・経済分野ではまだまだ大きな格差があり、先進7か国の中では最下位でした。また、管理職比率は113位、国会議員は94位など、意思決定の場における女性の参画の遅れが目立っています。

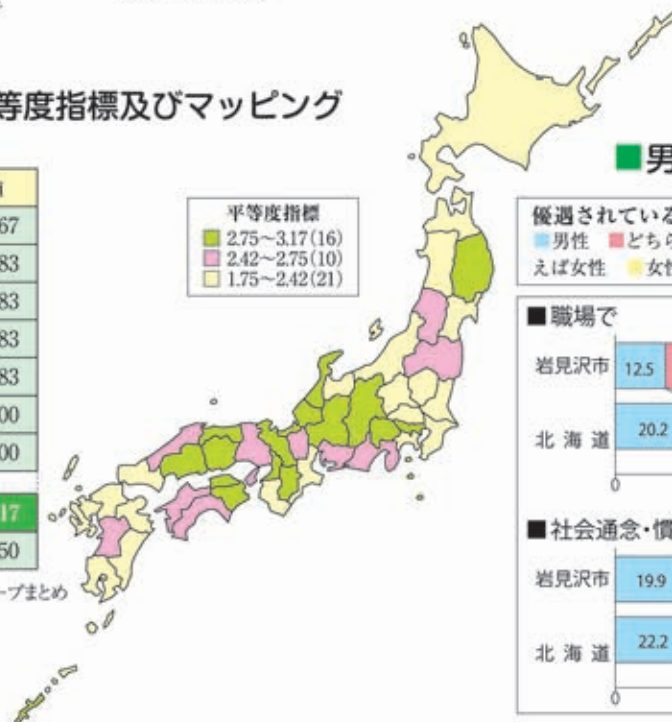
## 男女平等度指標 北海道は 全国46位!

昨年公表された国内における男女平等度指標(東北大学経済学研究科の吉田浩教授らグローバルCOE研究グループのまとめ)は、女性の教育や労働参加、給与水準など6つの指標を都道府県別に収集し、4段階で指数化して総合順位を付けたもので、男女共同参画の先進国、ノルウェー統計局が採用している方法です。マッピングに見られるように、おおむね中部、関西、中国、四国地方で平等度が高く、九州、東北、北海道は平等度指標の低いことが分ります。

## 都道府県別の男女平等度指標及びマッピング

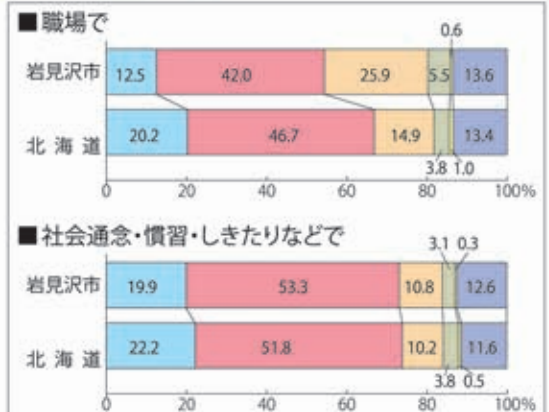
順位	都道府県名	値
1	鳥取県	3.167
2	長野県	3.083
2	京都府	3.083
2	岡山県	3.083
2	香川県	3.083
6	東京都	3.000
6	沖縄県	3.000
46	北海道	1.917
47	埼玉県	1.750

備考:東北大学グローバルCOE研究グループまとめ



## 男女の地位の平等感

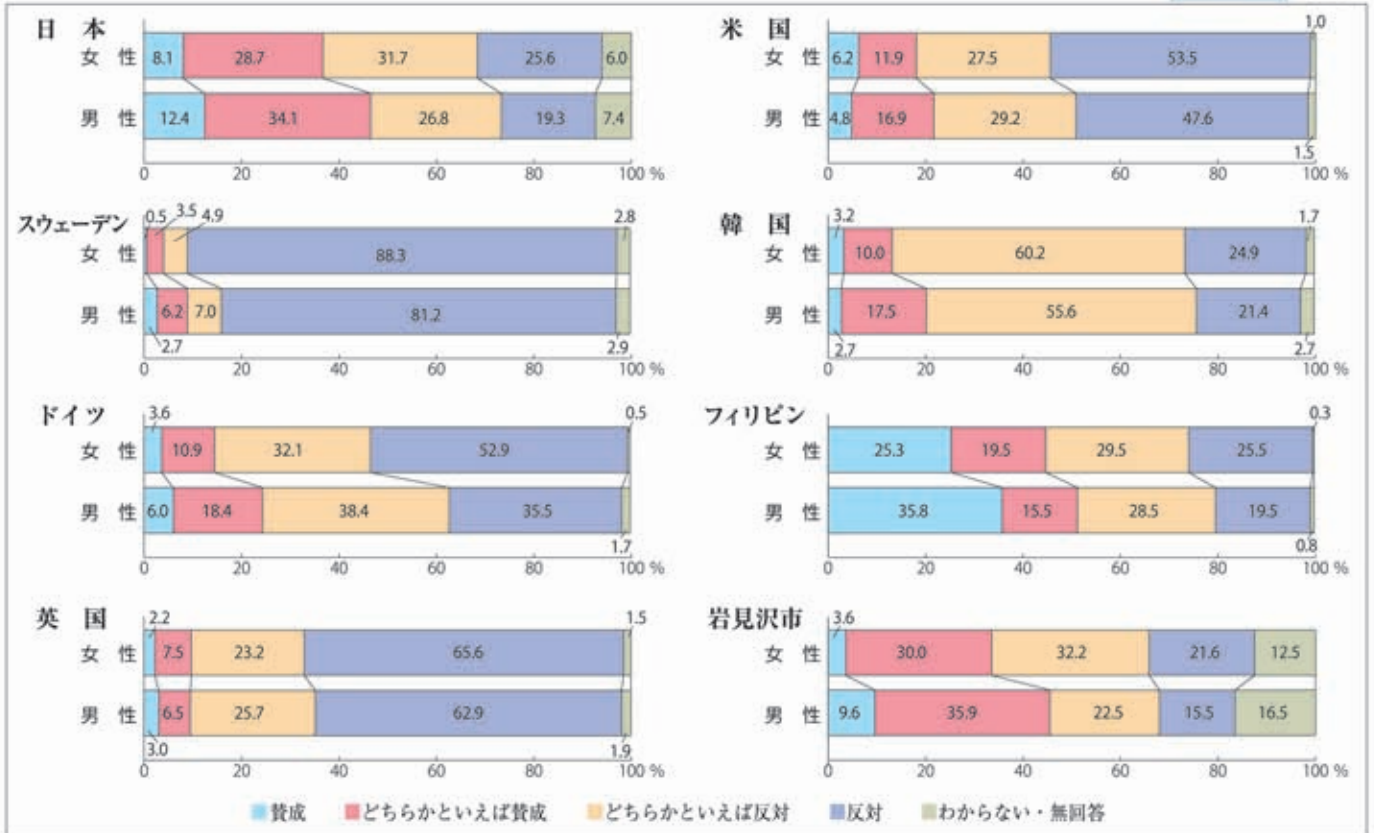
優遇されているのは  
 ■ 男性 ■ どちらかといえば男性 ■ 平等 ■ どちらかといえば女性 ■ 女性 ■ わからない・無回答



備考:岩見沢市「男女共同参画に関する意識調査」平成21年  
 北海道「道民意識調査2」平成18年

## ■ 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方について

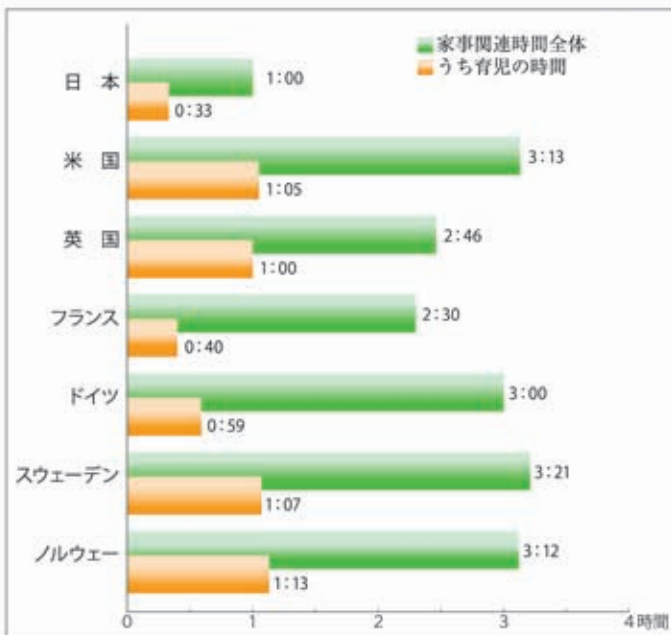
日本では、「賛成」「どちらかといえば賛成」とする割合がフィリピンに次いで高く、欧米諸国、特に北欧諸国と比較すると、固定的役割分担意識が強く残っていることが分ります。岩見沢市は、国よりも賛成する割合は低いですが、やはり、固定的役割分担意識が高いと言えます。



備考：内閣府「男女共同参画白書」平成19年版

## ■ 6歳未満児のいる夫の家事・育児時間

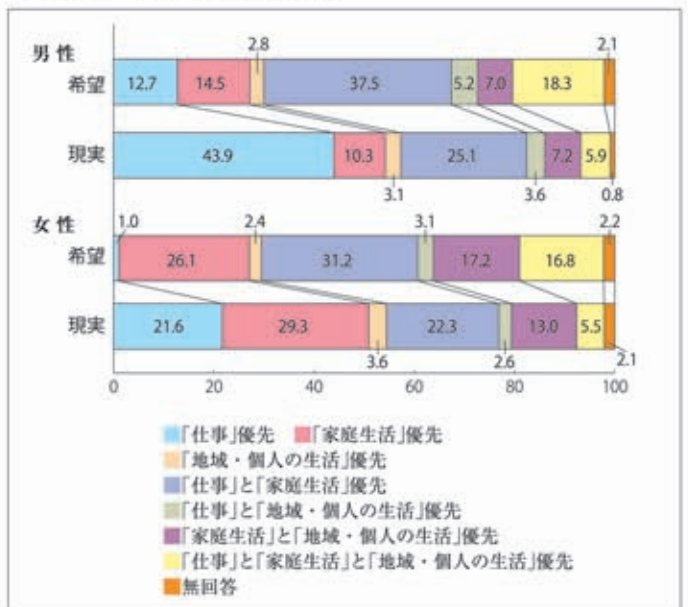
男性の長時間労働の影響もあって、6歳未満の子どもを持つ夫の家事・育児関連に費やす時間は1時間程度と、他の先進国と比較して最低の水準になっています。



備考：内閣府「男女共同参画白書」平成22年版

## ■ 仕事と生活の調和の希望と現実

「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度の希望と現実については、男女ともに「仕事と家庭生活を優先したい」とする人の割合が高くなっていますが、現実には、「仕事」や「家庭生活」といった、単一の活動を優先している人の割合が高く、希望と現実の間に大きな違いが生じていることが分ります。



備考：岩見沢市「男女共同参画に関する意識調査」平成21年

# 「デートDV」…その実態を知っていますか？

配偶者や恋人など親密な間柄にある男女の間で起こる暴力のことを、「ドメスティック・バイオレンス（DV）」といいます。最近、高校生や大学生など、若いカップルの間でも大人と同じようなことが起こっており、そのことを「デートDV」と呼んでいます。

内閣府が平成20年度に実施した「男女間における暴力に関する調査」によると、10代・20代で交際相手からなんらかの暴力を受けた経験があると答えた人は、女性が13.6%、男性が4.3%と、女性の約7人に1人、男性の約23人に1人がデートDVの被害を受けたことがあるという結果が出ています。

若者の中には暴力や束縛を愛情表現だと思い込み、自分が被害を受けていることに気がつかないなど、そのままにしておくことで将来、夫婦間のDVにつながる可能性も高く、身近な問題となっています。

## デートDVの暴力とは

### からだへの暴力

- 殴る ■ 蹴る
- 髪の毛を引っ張る
- 物を投げつける

### 性的な暴力

- 性的行為を強要する
- 避妊に協力しない
- アダルトビデオを無理やり見せる

### こころへの暴力

- 携帯電話（メール・着信履歴）を勝手に見たり、無断で消去したりする
- 友達づきあいを制限する
- 服装や行動をチェックする

### 経済的な暴力

- デート代をいつも払わせる
- 借りたお金を返さない
- 高額なものを買わせる
- バイトを無理やり辞めさせる

### 言葉の暴力

- 傷つくことを言う
- 嫌がることを言い続ける
- 脅す ■ 怒鳴る

## 一人で悩まず相談しましょう

### あなたが被害にあっていたら…

もし、あなたが被害にあっていたら、一人で悩まず身近な人に相談しましょう。もし身近に相談する人がいないときは、相談できる窓口があります。秘密は厳守されますので、勇気を出して相談してください。

### 友だちから相談されたら…

友だちの話をしっかりと聴いてあげましょう。決して批判したりせずに、よく聴いてあげることが大切です。

### 家族の会話を大切に…

デートDVは、男女に関係なく被害者にも加害者にもなることがあります。暴力を受けていることに気付いていなかったり、誰にも相談できないでいる若者はたくさんいます。

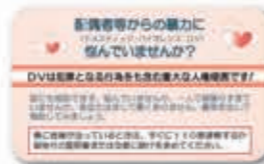
デートDVについて正しい知識を持ち、子どもの変化に気付いてあげられるよう、日ごろから親子のコミュニケーションを大切にしましょう。

### 友だちの様子がおかしいと感じたら…

被害にあった若者の多くが最初に相談する相手は友だちです。友だちの様子がいつもと違うと感じたり、話を聞いていて「DVかも」と思ったら、「何か困っていることはない？」と声をかけてあげてください。



## リーフレットとカードを作成しました！



岩見沢市では、DV防止に向けた啓発用資料として「配偶者等からの暴力に悩んでいませんか」という、リーフレットとカードを作成しました。暴力の実態や相談を受けた時の対応、身近な相談窓口などを紹介しています。

一人ひとりが、安全で安心な暮らしを送るために、多くの皆さんに読んでいただきたいリーフレットです。今後、公共施設など市内各所に設置し、広く周知していく予定です。

# 「リボン運動」をご存知ですか？

最近、色々な場面でリボン型シンボルマークを見かけるようになりました。特定の色のリボンやバッジを身につけたり、ステッカーを車に貼ったり、また、企業が使用するなどして、その運動を支援していることを表しています。

世界中の様々な運動が特定の色のリボンをシンボルに使っていますが、同じ色でも別の運動で使われている場合があります。あなたが知っている色のリボンはありますか？

## カラーリボンに込められた願い

### ピンクリボン



乳がんに対する正しい知識を広め、早期発見・早期診療・早期治療の大切さを伝えるシンボルです。乳がんを悲しむ人をなくしたいとの願いが込められています。

### レッドリボン



HIV感染者やエイズ患者に対する理解と支援のシンボルです。エイズに関して偏見を持っていない・エイズとともに生きる人々を差別しない、というメッセージが込められています。

### パープルリボン



女性に対する暴力の根絶を呼びかける運動のシンボルです。誰にも相談できずに暴力を受けている女性に勇気を与えたいとの思いが込められています。

### オレンジリボン



子どもへの虐待をなくす運動のシンボルです。子ども虐待の現状を広く知ってもらい、虐待を受けた子どもが幸福になれるようにとの思いが込められています。

他にも様々な運動の象徴としてカラーリボンが掲げられています

色	意味
グリーン（緑）	・ 移植医療への理解と普及啓発 ・ 自然環境保護
ゴールド（金）	・ 小児がんの知識の普及と子どもたちを支える活動
ティール（青緑）& ホワイト（白）	・ 子宮頸がんの啓発
ホワイト（白）	・ 開発途上国の妊産婦の健康と女性を守る
パープル（紫）	・ すい臓がんの啓発と撲滅を訴える

※ここで紹介した色が別の運動で使われたり、他の色が同じ運動のシンボルとして使われている例もあります



## 配偶者からの暴力は犯罪です！

配偶者からの暴力（DV）に関する相談は年々増加しています。平成21年度の配偶者暴力相談支援センターにおける相談件数は、全国で7万件を超えました。

さらに、DVに関する相談窓口について調べたところ、全国で約7割の方が、岩見沢市で5割強の方が知らないと回答しています。

### 勇気を出して相談してください

北海道立女性相談援助センター	011-666-9955
空知総合振興局環境生活課	0126-25-5648
岩見沢市役所市民活動課	0126-23-4111
北海道警察本部相談センター	#9110
NPO法人女のスペース・おん	011-219-7011



# あ・い・く・な 人

いろいろな個性があるから  
いわみざわが面白い

## 小松和子さん

こまつ・かずこ／昭和40年、夫の転勤で岩見沢市へ転居。現在は夫と2人暮らし。趣味はかな書道で、夫の書道教室を手伝う。42年間にわたるボランティア活動が評価され、平成22年度の厚生労働大臣表彰を受賞。

女性リーダーの先駆けとして、人材の育成やネットワークづくりなど、多方面にわたって活躍されている小松和子さんにお話を伺いました。

笑顔と優しいおしゃべりがとても印象的でした。

### ■ 社会参加の始まりは、出会いと学びと家族の理解

私が社会参加するようになったきっかけは、子どもが入学した小学校で、先輩からPTA活動を勧められたことですが、同じ頃、知人に誘われて婦人団体連絡協議会(婦連協)が主催していた「十日学校」に通い、団体活動の基礎を学んだことも、大きな理由の一つになります。

子育てや家庭のことを考えると、なかなか踏み出せませんでした。夫の理解と義母の心からの応援が、私の背中を力強く押してくれました。

### ■ ボランティア活動の数々

PTA活動の他に婦連協の編集委員や、小学校の教員をしていた経験から、留守家庭児童会の先生を引き受けたり、福祉施設でのボランティア活動など、気がつけば様々な分野で活動していたように思います。

家庭生活カウンセラー養成講座の運営委員長、婦人団体連絡協議会の会長、また、ボランティア推進協議会の会長としてボランティアセンターづくりにもかわり、平成18年までセンター長として活動していました。



毎日が充実していましたね。素敵な人たちにも、たくさん出会うことができました。

### ■ 私の人生を何倍にも輝かせてくれた人たち

市内の福祉施設で研修した時のことです。私はそれまで、車いすの利用者など障がいのある人は、手助けがないと何もできないのではと思っていました。ところが、そこで生活している皆さんは、自分たちができることは何でも実践し、仲間たちといろいろな会を作って生き生きと生活していたのです。

施設での行事を共同で企画し、交流を深める中から、多くのことを学ばせてもらいました。

さらにもう一人、私の人生に影響を与える出会いがありました。その方は目が不自由でしたが、「私自身、障がいがあっても、誰かのためにできることをしたい」と言って、電話ボランティアを実践されていたのです。

力強く、目的を持って生きる姿に感動しました。私が今日までボランティアを続けられた原点がここにあります。

### ■ 前向きに生きる人間でありたい

この度は、身に余るような賞を頂きましたが、この賞は、私がいただいたというより、岩見沢のボランティア活動が認められたという思いがして、本当に嬉しかったです。今日までともに歩んできた皆さんと喜び合いたいです。

私は現在も、家庭生活カウンセラークラブの相談員やライラックという労災病院の図書ボランティアを続けていますが、これからも支えを必要とする人のために、前向きに生きて行こうと思っています。



### ■ 感謝の気持ちで

ボランティア活動で大切なのは、相手が必要としている時に手を差し伸べることです。親切の押し売りになってはいけません。また、無理をして活動が続けるものでもありません。できる時にできる範囲で、自分が得意とする分野を生かしたボランティア活動でありたいと思います。

相手の方から「ありがとう」と言われた時の喜びと感謝の気持ちを忘れることなく、これからも「優しい心で聴くこと、聴き上手になること」を基本に、様々な分野で若きリーダーが活躍してくれることを、心から願っています。

これまでに贈られた賞の数々をご紹介します。

- ・岩見沢市教育振興功労賞
- ・岩見沢市福祉ボランティア活動表彰
- ・北海道善行賞(ボランティア活動実践者)
- ・岩見沢市市政功労賞
- ・厚生労働大臣表彰 ほか



## 小樽市男女平等参画推進協議会との交流会を開催

平成 22年9月2日(木) 会場：広域総合福祉センター



市民会議は、男女共同参画を推進するための知識を深めようと、例年、他市との交流事業を実施しています。今年度は、小樽市から男女平等参画推進協議会の会員17名の皆さんをお迎えして、お互いの活動内容や予算、組織構成、男女共同参画プランの見直しなど、その現状と取組み等について活発に意見交換を行いました。

市民会議の誕生とその役割、岩見沢市が実施している各種事業が、市民会議と行政との協働で企画・運営されていることについて、多くの質問や意見が出されました。

男女共同参画を推進するには、市民に対する意識啓発や情報の提供が重要になりますが、そのためには市民と行政との協働が最も大切であることを、あらためて確認することができました。



### ◆主な意見交換

- \*市民会議が誕生した経過等について
- \*具体的な活動内容と予算について
- \*男女共同参画プランの見直しに伴う職員体制と策定方法について

また、限られた予算の中で効果的な活動をするにはどうしたら良いかなど、話は尽きませんでした。難しい問題はあるものの、組織のあり方を見直しながら、小樽市としてもさらに工夫を重ね、活動を発展させていきたいと話されていました。

私たち市民会議も、お互いを認め合える温かい社会の実現に向けて、これからも他市との交流を通し、学びを深めながら情報を発信し続けたいと思います。

## 第3期女性のためのステップアップ講座を開催

女性のためのステップアップ講座は、女性が自信と生きがいをもって、あらゆる分野で自分らしく、生き生きと活動することを目的に企画したものです。今回も、幅広い受講生の応募がありました。動機も知り合いの誘いや広報誌で情報を得た方が多く、ステップアップ講座が市民の皆さんに浸透してきたことを実感することができ、スタッフ一同とても嬉しい3期目の講座となりました。



### 第1回 砂漠の国モーリタニアの子どもたち モーリタニア里親の会代表 末岡 智恵子さん



国土の  $\frac{2}{3}$  が砂漠という西アフリカのモーリタニア・イスラム共和国に暮らす子どもへの教育支援活動についてお話を聞きました。

### 第2回 都市と農村の懸け橋

株式会社アーク代表取締役 浜本 さおりさん



農業への強い想いと農村の厳しい現状から、都市と農村を結ぶことの大切さについてお話を聞きました。

### 第3回 快適生活の提案 ～あなたも整理・収納の達人に～ 整理収納アドバイザー 島山 聡子さん



快適な生活を送るため、整理収納の手順やポイントについてお話を聞きました。

### 第4回 家族のコミュニケーション ～伝えるスキル・聴くスキル～ こころそだちの相談室みなみな 西村 淑恵さん

家族のコミュニケーションはなぜ大切か、日本の文化や男女の違いからみる現状と、夫婦・家族との上手な関わり方についてお話を聞きました。

### 第5回 女性のからだと健康 ～免疫力をつける～ 若見沢市保健師 小田野 文さん

健康に過ごすために、体内のシステムや免疫力をアップさせる方法についてお話を聞き、みんなでストレッチ体操を行いました。



## 修了式&茶話会



茶話会では講座の思い出などを話しながら、楽しいひと時を過ごしました。

今回は20名の受講生が修了式を迎えました。市民会議の代表から一人ひとりに修了証書が授与され、皆さんは笑顔で受け取っていました。



身近な方が世界に目を向けて活動を起こしたことに共感しました。

### 受講生の声を紹介

道内の農業をしっかり守らなければと感じました。

コミュニケーションの大切さ、分かっていたつもりだったのですが...

今日よりも一歩、ステップアップした明日へ！講座はあなたのものです！！

## 男女共同参画市民フォーラムを開催



平成22年8月21日(土)「一人ひとりが素晴らしい」をテーマに、平成22年度のフォーラムを開催しました。「サザエさん」のマスオさん役、「それゆけ!アンパンマン」のジャムおじさん役など、多方面で活躍している声優の増岡弘さんを講師に迎え、「サザエさん一家は幸福(しあわせ) みつけの達人ぞろい」と題してお話いただきました。



「サザエさんは、飲み頃の日本茶の味」…昭和44年から40年も放送されている長寿番組のサザエさんを、「サザエさんは家族揃って安心して見ることができる番組です」と飲み頃の日本茶の味に例え、フグタマスオから見たサザエさん一家のことや、声優という職業を通して知ることができた言葉の大切さについて話されました。



「言葉は相手に対するプレゼント」…ほめる言葉、しかる言葉、励ます言葉、言葉はみんな相手に対するプレゼントです。私たちの言葉は一度口から出たら戻すことはありません。「言葉には温度があり、人の心にも温度があります。心の温度を押し量って相手にもの言うことを忘れていませんか」と会場の皆さんに問いかけていました。

「3文字の手紙」…南極観測船の乗組員だった夫のもとに新婚の妻から一通の手紙が送られてきました。何が書かれているのかそっと手紙を開くと、そこにはひらかなで3文字「あなた」と書かれていたそうです。名文として伝わる実話だということですが、心が温かくなりました。

「男女共同参画の基本」…男女共同参画の基本は、人間の基本、心の基本、健康の基本、世の中の基本と言ってもよく、それは夫婦仲が良いということです。「夫の背中を流すとき、大きく“スキ”と書いて試してください。間違っても“バカ”などと書いてはいけませんよ」と会場を沸かせていました。



「見えないものを大切に」…最後に「私と空気のボールで遊びませんか」という呼びかけに答えてくれた参加者のプレーをとおして、姿形は見えなくても、この空気が大切なのです。見えない心も物と同じで、相手にあげれば相手も返してくれます。見えないものを大切にしてくださいと話され、会場から温かい拍手が沸き起こっていました。終始笑いを交えながらのお話は、さすが「益々家(ますますや)ちゃん助」の名をお持ちの落語家でもありました。

## 街頭啓発を実施しました

＝TOPICS＝



6月23日からスタートした男女共同参画週間に合わせて、24日に空知総合振興局、岩見沢市、いわみざわ男女共同参画プラン推進市民会議、男女共同参画いわみざわが合同で、コープさっぽろ岩見沢東店、ザ・ビッグ岩見沢店などの前で街頭啓発を実施しました。



朝から降っていた強い雨のため、人出がないのではと心配しましたが、天候が回復したこともあり、たくさんの買い物客でにぎわいを見せました。来店した市民に配布しようと用意したチラシや風船、啓発用グッズはあっという間になくなりました。



## ＝INFORMATION＝

今、私たちにできることを!



3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震は、全てが想定外という未曾有の大災害を引き起こし、多くの尊い命とともにそれぞれの地域に暮らす人々の生活を奪い去りました。被災地では、復興に向けて全国各地、世界中から温かい支援の手が差し伸べられ、岩見沢市からも様々な支援が行われています。被災された皆様に、一日も早く元気と笑顔を取り戻していただけるよう、今、私たちにできることを実践していきたいと思えます。

市民会議では、市内で活動している女性団体等と協力し、被災した女子児童・生徒の皆さんへ、下着や生理用品を手作りのきんちゃくに入れて届けようという取り組みを計画しています。詳細につきましては、下記へお問い合わせください。(期間は4月～6月の予定です)



## 編集後記

今年は年明けから記録的な豪雪に見舞われ、各家庭では除雪作業に追われる毎日にご苦労されたことと思います。

市民会議は、今年度も各種事業の開催により充実した1年を送ることができました。また、行事に参加された方が新メンバーとして加わっていただくなど、うれしい出来事もありました。

新年度につきましては、以前から取り組んでいる「女性の視点による防災・災害復興」について、あらためて考えていきたいと思えます。

終わりになりますが、この度の震災で亡くなられた多くの方々のご冥福を、心からお祈り申し上げます。

ア・ライク VOL.9 2011年3月

発行 岩見沢市企画財政部企画室  
〒068-8686 岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号  
☎0126-23-4111(内線422)  
E-mail: danjo@i-hamanasu.jp  
企画・編集 岩見沢市男女共同参画情報誌編集委員会  
(いわみざわ男女共同参画プラン推進市民会議)